

# 三者連絡会(教授職員会、琉大労組、琉病労)

## ニュース 第50号

2012年 4月 20日

事務局・琉球大学教授職員会 (内線 2023)

E-mail [kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp)

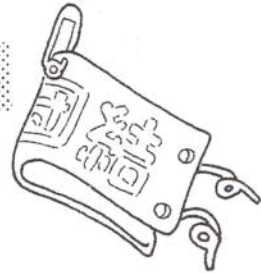
<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kyoshoku/>

琉大労組(内線 2024) 琉病労 (内線 7-2099)

三者連絡会 (教授職員会・琉大労組・琉病労)

### 大幅給与削減に反対するシンポジウム

## 是非参加してください!



国家公務員は4月から2011年度人事院勧告平均0・23%を2011年4月に遡って実施し、その上で人事院勧告と合わせて7・8%削減された給与が支給されました。給与明細をみてガックリ、36万円の支給額に対して2万8千円減でした。期末手当も一律10%削減されます。

琉大当局は組合に「対応を検討中だがまだ全体へ明らかにするまでには至っていない」と答えています。しかし、公務員に準拠して給与の削減を提起してくることは間違いありません。

この問題の重要性に鑑み、三者連では当局の提案の前に、①給与の大幅削減に断固として反対する立場にたって、今回の削減の内容等諸情勢や問題点等を明らかにし、②この削減がいかに教職員の研究など職業生活や家庭生活に影響を及ぼすのか等を大いに出し合い、③琉大における問題点を洗い出し、今回の大幅給与削減が琉大で働く者にとっていかに理不尽で不当なものであるか、構成員の認識を一致させ生活を守るために「断固反対」の取り組みを強化していく目的で、シンポジウムを開催することにしました。(日時や当日のプログラムは裏面をご覧ください)

### ~~頑張っている琉大教職員 法人化以降減り続ける人員~~

2011年度琉大当局は人件費の余剰分を2億5千万円出しています。1億4千万円は採用時期の計画がずれた事を理由にしています。しかし、実体としては附属病院では、毎年黒字を計上していますが午後11時から翌朝の午前8時まで深夜勤務をしてさらに超勤をしなければ帰宅できない過酷な状況です。

各部局・学部でも実質年間360時間では収まらない程の残業をしているのが現状です。

2004年の法人化以降、琉大では事務・技術系職員が約40人も削減されています。非常勤や派遣職員に置き換えられている部分もありますが、削減のために各職場では時間外労働が増え超過密労働を強いられており、労働密度は高くなっている現状です。

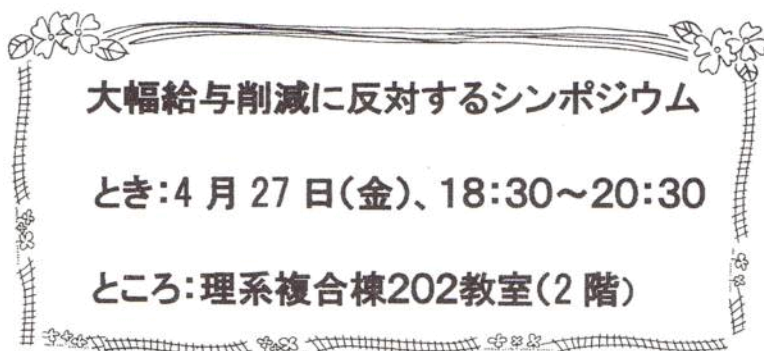
また教員組織では、従来事務系職員が担当していた業務等を教員がおこなうようになり、事務系職員削減のしわ寄せをもろに受けています。16人増員されてはいますが、地域や学生の幅広いニーズに応え、科研費を含めた外部資金獲得の厳しい競争を有利に進めるには、あまりにも疲弊しており、教育と研究の両面において支障をきたしている状況です。

## 琉大の教職員の給与は低い！

琉大の教職員は頑張っているにもかかわらず、大学への貢献度に対してその給与は低いと言わざるを得ません。他の国立大学法人等を100とした場合、琉大の教員は94.1%、事務・技術系職員は国家公務員の79.0%の給与水準です。看護師については国家公務員や他国立大学法人の96.2%でしかありません。

沖縄県における琉球大学・附属病院の果たす役割を考えた場合、あまりにも低い給与だと言わざるを得ません。実際に新規採用予定者があまりの労働条件の劣悪さに沖縄県庁や他市町村へ乗り換える事も多々ありました。このような状況のなか、今回の給与削減が敢行されればどうなるのでしょうか。私たちはこれ以上低い給与に甘んじるわけにはいきません。

多くの方の参加を呼びかけます。共に考え、共に闘いましょう。



### 当日のプログラム

1. 基調報告 (1) 亀山統一 (農学部) 情勢と全国の動き
2. 基調報告 (2) 戸谷義治 (法文学部) 労働法の観点から
3. パネルディスカッション  
パネリスト: 高良鉄美 (コーディネイター)  
パネリスト: 亀山統一  
パネリスト: 戸谷義治  
パネリスト: 琉大労組代表  
パネリスト: 琉病労代表

### 4. 質疑応答

